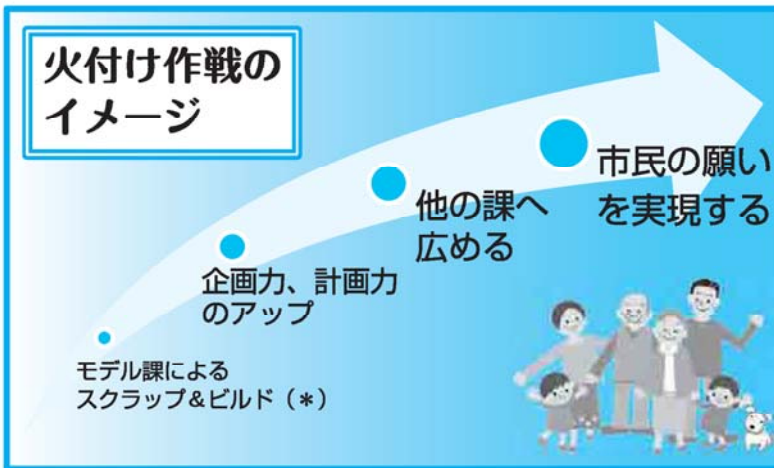


市役所改革に向けての取り組み

## “火付け作戦”を展開しています

●火付け作戦とは  
市役所改革推進本部の指揮の下、定常業務を削減し、市民の声に応える政策に組織として集中的に取り組む事を言います。



### ◆平成21年度の実績

- スクラップできた業務量 4,231日
- ビルドに取り組んだ業務量 3,610日

#### 主な政策課題

- 上下水道料金収納業務の民間委託
- 耕作放棄地の解消
- 高齢者の安全を守る緊急通報システムの充実
- 小水力発電事業
- 公民館サポーターの養成
- 市民協働で行う道路・河川施設の維持補修
- 体育団体の自立化（付知）など

(\*)スクラップ&ビルド…ここでは既存業務の見直しを行い、政策課題に取り組むことを表しています。

### ◆平成22年度の方針

平成21年度から取り組んでいる12課(うち水道部業務管理課は平成21年度中に完了)、および平成22年度から新たに取り組む24課の合計35課にて火付け作戦を展開します。

		スクラップ(業務量の削減日数)	ビルド(政策課題の数)
継続 12課	21～22年度の取り組み	41.9%(10,140日)	47政策
	21年度実績	17.5%(4,231日)	
	22年度目標	24.4%(5,909日)	
新規 24課	22～23年度の取り組み	19.8%(8,921日)※	48政策
	22年度目標	10.8%(4,882日)	
	23年度目標	9.0%(4,039日)	

※新規課では、新たな臨時職員の雇用による業務の削減を行わないため、業務削減率が低くなっています。

### ●ロードマップとは

「何を、いつまでに、どのように」改革するかを明らかにした工程表です。  
平成21年度に「ロードマップ2009」を策定し、計画的に改革を進めています。

## 『ロードマップ2009』の成果を報告します。

平成21年に策定した「ロードマップ2009」の改革項目について、平成21年度の実績を取りまとめました。  
全144項目のうち完了は54項目(38%)、完了も含め8割方は取り組みが進んでいますが、遅れている項目も約2割ほどあります。成果の検証を行い、改革をさらに前進させます。

### 行政改革の財政効果

- 21年度中の財政効果
  - 歳出削減額 約3億500万円
  - 歳入増加額 約8,300万円
- 22年度予算に反映した財政効果
  - 歳出削減額 約3億4,700万円
- 将来の予算への効果(見込み)
  - 歳出削減額 約7億3,200万円
  - (繰上げ償還による金利分の減額)

### 主な改革項目の状況

- 職員の削減(医療機関を除く)
  - 43人削減 削減効果2億7,600万円
  - 平成17年4月1日の職員1,065人から197人減りました。
- 借金の削減
  - 借金額を約46億円削減
  - 繰上償還による将来の金利分7億3,200万円の減額
  - 合併時(平成16年度末)の借金1,107億円は153億円減りました。
- 事業の見直し
  - 削減効果7,100万円
  - 19年度に市民評価された事業の見直し削減累計額は3億7,500万円となりました。

# “かやの木政策塾”を開きました

●かやの木政策塾とは  
政策業務に意欲のある若手職員が中心となった政策集団です。企画力、計画力を備えた職員を養成します。

## ◆概要

係長級以下の職員を対象に入塾希望者を公募し、1テーマ5人程度の小集団で活動します。政策課題に対する施策などの企画、立案に取り組み、市のトップ会議である政策審議会（※）に施策や事業の提案をします。（※）市長、副市長、理事など7人で政策を審議する会議

## ◆構成

塾長	成瀬博明政策調整監(次長級)		
活動チーム	12チーム(12テーマ)		
登録メンバー	リーダー	12人(企画統括主幹等)	合計 76人 (リーダーと構成員の兼務が2人)
	構成員	66人(申込者)	
活動期間	平成22年7月～平成23年3月		

## ◆テーマ

① IT を利活用した行政機能づくり	② 公共施設のあり方と見直し
③ 4つの気質の打破	④ 人口推計
⑤ 子育て支援策（小学生以上）	⑥ 子育て支援策（未就学児童）
⑦ 自主財源の確保	⑧ 地域ブランド
⑨ 定住化支援策	⑩ 住宅供給
⑪ 企業誘致（雇用対策）	⑫ 空家空地対策（遊休土地活用）



活動模様（公共施設のあり方と見直し）

## ◆特徴

- 企画統括主幹（課長級）などをリーダーとして、政策課題に対する具体的な施策、事業の企画立案を行います。
- 市民サービスや業務の効率化に効果のあるものについては、政策審議会などを経て実現させます。
- 提案の効果、内容などが政策審議会でも認められた施策や事業の提案したチームのメンバーについては、勤務評定に反映させます。

## 改革への工程表『ロードマップ』の成果と取り組み

### 『ロードマップ2010』の概要をお知らせします。

平成21年に策定した『ロードマップ2009』の144の改革項目について、平成21年度の実績を踏まえ見直しました。全144項目のうち12項目を統合（IT化の項目）、新規6項目を追加し全139項目に見直し、完了を除く実施項目は88項目となります。進捗管理をしっかり行い、改革を着実に進めます。

### 行政改革の財政効果

- >22年度中の財政効果推計額  
歳出削減額 約4億2,900万円  
歳入増加額 約9,400万円
- >23年度予算反映財政効果推計額  
歳出削減額 約1億6,400万円

### 主な改革項目

- 職員850人体制の実現（医療機関を除く）  
868人(H22.4.1)⇒850人
- 時間外勤務の削減
- 借入金の繰上げ償還
- 不要な土地の売却
- 若手政策集団『かやの木政策塾』の立ち上げ【新規】
- 各種団体への行政の関与の見直し【新規】

★『火付け作戦』や『かやの木政策塾』、『ロードマップ』については、市ホームページで公開しています。

問 行政改革推進課（☎内線436）